

世界的なデジタル革命は社会を根本から変えようとしています。政府はIT戦略の中で私たちに変化を社会への柔軟な対応を強く求めています。しかも、この傾向は今般のコロナ禍によって更に拍車がかかるとは確実です。

昨年11月のコラムでも触れたように、世界的なデジタル革命は社会を根本から変えようとしています。政府はIT戦略の中で私たちに変化を社会への柔軟な対応を強く求めています。しかも、この傾向は今般のコロナ禍によって更に拍車がかかるとは確実です。

自分のやりたい仕事を求めて市外に出ていくことに異論はありません。ですが、望まないのに市外に出ていかざるをえないとすればそれは問題です。たとえば、ほんの数年前まで仁賀保高校情報メディア科の生徒は、そのスキルを生かせる職場が地元になく県外に出ていくしかありませんでした。ところが、近年状況が変化しています。いま複数のIT企業が県

の流出を防ぐという取り組みの効果は絶大ですし、ものづくりのまちである当市にとつて一定規模の製造企業の誘致への取り組みは必然と言えます。

かつての地方には、たとえ若者が流出しても、それを補うだけの若者がいました。ところが現在の人口減少による労働力不足は極めて深刻です。

国勢調査に基づく「昼夜間人口の推移」から、これまで当市は昼間人口の方が夜間よりも多い状況にありました。平成27年にわずかの差で逆転しましたが、それでもなお多くの人の雇用が市内で確保されています。確かに、若者の就業場所を確保するには企業誘致が最も効果的です。ですが、市内に働く場があるのに社会減は止まっています。その理由の一つに「希望する職種を求めて若者は移動する」という実態があげられます。

内に進出してきています。その大きな理由は都会でのIT技術者不足です。あわせてコロナ後の在宅勤務の浸透等による地方への人の還流がこの流れを加速させていると見られます。私の肌感覚からも日頃IT企業の方々の情報交換のなかで、彼らのIT教育を受けた学生に対する期待はかなり大きいことがわかります。ほかに社会減の主たる原因となっている女性の流出への対処として、女性が希望する職種の誘致など、まだまだ取り組むべきことはたくさんあります。

菅新政権が誕生しました。開口一番、新首相が述べた政策は「デジタル庁」の設置でした。それは、9月19日の日経新聞の記事にあるように、行政のデジタル化の遅れが日本の生産性を高めるうえで足かせになっているというところ、また、低成長の人口減少の中で製造業頼みの成長モデルだけでは生き残れないということ、少なくともこの二つがその背景にあることを意味しているのです。



にかほ市長
市川雄次

少子化について 誘致編

■社会減の背景と企業誘致

かつて、地方の人口の社会減は戦後復興の文脈の中で捉えることができませんでした。働き手が不足していた都会と、若者の働く場が不足していた地方、という構図です。つまり、当時は地方の人口流出に対して、都市と地方の間に共通する利害があったのです。

しかしながら、この暗黙のうちに進行した社会減は、程なくして「過疎化」という新たな問題を地方にもたらしました。今度は地方からの人口流出を防ぐことが新たな社会的課題となったのです。このときに広まったのが企業誘致という政策でした。

にかほ市は県内屈指の製造業のまちとして発展してきました。TDKを中心に企業群が形成され、安定した雇用が確保されてきました。もちろん、いろいろな危機があり、市内に動揺が広がることもありましたが、多くの人の努力によって困難を乗り越えてきました。

企業を誘致し、雇用を拡大させ、若者

にかほ
biz
まるっと!
vol.19



志向産業株式会社

世界一を誇る日本の鉄道の安全・安定輸送をにかほ市から支えています

■チームワークで

信頼を受ける技術集団です

私たちは、鉄道の線路を保守する仕事をしています。JR東日本羽越本線の本橋（酒田市）から道川（由利本荘市）間のほか、由利高原鉄道も担当しています。その延長は100kmを越えます。古くからのレールや枕木の交換、砂利の入れ替えなど保線の仕事は多岐に渡ります。業務上、列車があまり走らない時間帯に作業をする必要があるため、夜間作業が中心となります。限られた時間の中で効率よく、かつ安全に作業を進めなければならぬので、チームワークをとても重視しています。同じ作業でも現場の状況で工法や段取りが変わってくるため、何人もの目でしっかりと確認し確実に遂行することが求められます。

雨や風など天候に関係なく作業をしなければならぬため大変な仕事ですが、自分たちが直した線路を安全に走っていく列車を見た時にはやりがいを感じますし、自分の仕事に誇りを持っています。

仕事内容が特殊なこともあり、前職での経験者はほほいしません。みんな一から仕事を覚えてきたので、働き始めた人の気持ちに理解があり、新卒・中途に関わらず安心して働くことのできる職場です。私たちが守る鉄道を毎日同時刻に列車が安全に走る達成感、それを一緒に経験しませんか。

企業情報

1975年以来、鉄道工事一筋、今年で45年を迎えました。お客様に快適な乗り心地を提供するためにミリ単位の精度で線路を補修する作業を行っています。にかほ市で世界一の安全・安定輸送に貢献しています。そのため、5K『危険・きつい・汚い・暗い・厳しい』環境です。だからこそ、やりがい、達成感を得られる職場です。

■秋田労働局のHPに当社の企業PRシートを公開していますのでぜひご覧ください。

- ▷所在地 にかほ市両前寺字井戸尻 7 番地 6
- ▷事業内容 JR東日本保線作業、由利高原鉄道保線作業
- ▷従業員数 25人
- ▷電話 0184-74-5531
- ▷FAX 0184-74-5532
- ▷Eメール nickm-m67380@if-n.ne.jp
- ▷HP https://shikou-sangyou.com/



「にかほbizまるっと！」に掲載する事業所を募集しています！若者や女性の採用に積極的な事業所やイチ押しの魅力などを持っている事業所を紹介します。申し込みは商工政策課(☎43-7600)まで！



にかほ市移住・Uターン・お仕事支援ポータルサイト